ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

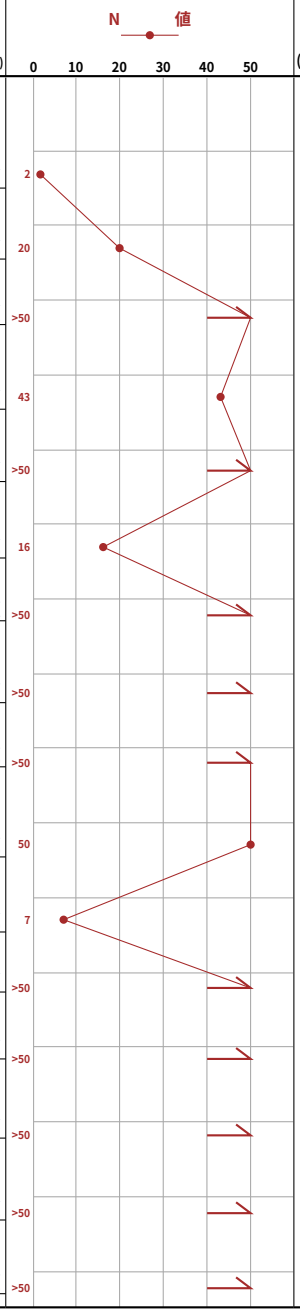
ボーリング名	No.4（五分一堰-右岸）	調査位置						北　緯	36 ° 24 ’ 44.0000 ”
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所 河川砂防部			調査期間	2008-02-01 ～ 2008-02-04			東　経	139 ° 54 ’ 01.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	55.99 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 10.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	17.05 m								

試 錐 機		ハンマー落下用具	
エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	54.99	1.00	1.00		盛土(シルト) (M)	黒褐		軟らかい	0.5mまで腐植質で軟質 含水・粘性ともに中位である		
1	54.39	0.60	1.60		粘土 (CH)	褐灰		軟らかい	含水量多く粘性やや大きい 上部は腐植物混入		
	53.99	0.40	2.00		砂礫 (GS)	褐灰	緩い		φ5～50mmの円・亜円礫が主体		02/01 2.20
2	53.69	0.30	2.30		粘土質細砂 (FSC)	褐灰	中ぐらい		粒径不均一な細砂で粘土分が非常に多い		
3					砂礫 (GS)	暗褐灰	密な		φ5～40mmの円・亜円礫主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 4.0m付近まで孔壁崩壊し易い 4.0～6.0m間は少量逸水する 安山岩・流紋岩など火成岩が多い		
4											
5											
6	50.09	3.60	5.90		礫混じり粘土 (CH-G)	褐		硬い	含水・粘性ともに中位である 礫はφ5～10mmの円礫でなる		
7	49.49	0.60	6.50		砂礫 (GS)	暗褐灰	密な		φ5～40mmの円・亜円礫主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 流紋岩など火成岩が多い 14.0m付近は褐色を呈す 15.9～16.1m間は礫混じり粗砂を挟む 全体に固結の程度が高く非常に締まっている		
8											
9											
10	45.59	3.90	10.40		粘土 (CH)	淡褐		中位	含水・粘性ともに中位である 細砂分が少量混じる		
11	44.59	1.00	11.40		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐	非常に密な		φ5～40mmの円・亜円礫主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 全体に固結の程度が高く非常に締まっている 礫種は安山岩,流紋岩など火成岩が多い 逸水は殆どなく孔壁安定する		
12											
13											
14											
15											
16											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／20	1／15		2／35	2
1.50					
2.15	3	5	12	20／30	20
2.45					
3.15	27	23／8		50／18	>50
3.33					
4.15	11	14	18	43／30	43
4.45					
5.15	19	18	13／7	50／27	>50
5.42					
6.15	5	6	5	16／30	16
6.45					
7.15	30	20／4		50／14	>50
7.29					
8.15	23	21	6／3	50／23	>50
8.38					
9.15	50			50／10	>50
9.25					
10.15	19	24	7	50／30	50
10.45					
11.15	1	2	4	7／30	7
11.45					
12.15	47	3／1		50／11	>50
12.26					
13.15	50／0			50／0	>50
13.15					
14.15	50／7			50／7	>50
14.22					
15.15	27	23／6		50／16	>50
15.31					
16.15	34	16／6		50／16	>50
16.31					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/01
						02/02

17	38.94	5.65	17.05		粘土混じり砂礫(GS-C)	暗褐	非常に密な		φ5～40mmの円・亜円礫主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 全体に固結の程度が高く非常に締まっている 礫種は安山岩,流紋岩など火成岩が多い 逸水は殆どなく孔壁安定する			16.15 16.31 17.05 17.05	34 50/0	10/6		50/16 50/0	>50 >50												02/04